

笑 顔

☆まあるいじかん☆

篠山東中学校 3年1組学級通信

第 39 号

2018(平成30)年9月12日発行

発行者 松田 淳二

体育祭練習(3日目)

警報のため休校があり、なかなか体育祭の練習ができない中、本番に向けてできる準備をみんなですんでいます。警報が出て、ダンスの練習ができないと残念がっている人もいました。それほど体育祭にかける思いはそれぞれ強くなってきていると思います。また、組体操やダンスも3年生が中心となり、しっかりと後輩をリードできているところが素晴らしいです。みんなにしか



できない**温かさを全校生に分け与えている素敵な取り組み**になっています。

さて、昨日は久しぶりの晴れの天候で、すべてが予定通りに行きました。デカンショ踊りでは地域の保存会の方に来ていただき、とても丁寧に教えていただき、全員がデカンショ踊りを踊ることができるようになりました。後半では、**掛け声も大きな声で言っていてよかった**と思います。また、入場行進もよくなっています。ポイントを各自が押さえ、**42人の思いをもった団体としてみせる行進**ができればいいと思います。組体操もダンスも順調です。



組体操では、例年になく成功率が高いのが本当に素晴らしいです。応援合戦も一応、つくる文字の形の確認を最後まで終えることができました。あとは、**全員の息を合わせた演出がどこまで揃うのかがカギ**になってきます。昨日の通信で書いた**主体的に合わせることを**やってみよう。みんなならできる。**みんなだからこそできる。**生徒会演技の練習もお互いに励ましあい、ポイントを押さえながら、できています。成功率が高くなったり、どんどんスピードが増してきたりしていい感じです。今のまま気を引き締めて練習に励んでいきましょう。また、大縄跳びでも目標



の21回を大きく更新し、**28回連続で跳ぶことができました**。しかも数回跳んだだけで。今日は35回を目指します。

練習を通して、今必要だと思うことは、**辛抱すること**です。それは、大縄跳びをしているとき、跳んでいるスペースが狭くなってしまふことがあります。そのときに跳べるスペースでどれだけ辛抱できるかがこれからの記録更新につながってきます。そして、目標をクリアできたからといって安心せずに跳び続ける**平常心も大切**です。うまくいっているときほど平常心で演技をしよう。3年生だからできる平常心をみんなでみせてください。このことは大縄跳びだけでなく、生徒会演技や綱引きなどにもいえます。万全の状態であればいいのですがどうしてもそうでないときがあります。そのときに**どこまで辛抱して耐えられるか、平常心でどこまでできるかの2つにこれから挑んでいこう**。しんどい時や辛い時は当然、言っくとめればいいです。できることをやってみよう。

体育祭まであと3日です。**みんなで心をひとつにやりきろう**。みんなならできる。

